

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
1学期	数学Ⅰ	25	数と式 2次関数 図形と計量 データの分析	家庭学習でCheckを課題として与え、授業では類題の問題演習・解説を行う。 数学Ⅰの全分野について基本公式の意味や全分野の相互のつながりを確認する。 公式利用のポイントを押さえる。	○				a.家庭学習を行い授業に臨み、意欲的に演習に取り組んでいる。 b.様々なアプローチを考え、問題を解くことができる。 c.論述の中で、簡潔な計算・数式処理方法で正確に処理ができる。 d.問題に沿った公式を判断し、活用できる。	レポート 確認テスト 観察 定期テスト
	数学A	11 36	場合の数と確率 図形の性質 整数の性質	家庭学習でCheckを課題として与え、授業では類題の問題演習・解説を行う。 数学Aの全分野について論理的な記述力を高めるため、添削など丁寧な指導を行う。 小テスト等を組み入れ、なるべく多くの分野の問題に取り組ませる。	○				a.家庭学習を行い授業に臨み、意欲的に演習や小テストに取り組んでいる。 b.適切な筋道を立て簡潔な論述ができる。 b.様々なアプローチを考え、問題を解くことができる。 c.論述の中で、簡潔な計算・数式処理方法で正確に処理ができる。 d.問題に沿った公式を判断し、活用できる。	レポート 確認テスト 観察 定期テスト
2学期	数学Ⅱ	28	式と証明 複素数と方程式 図形と方程式 三角関数 指数関数・対数関数 微分法と積分法	家庭学習でCheckから精選して課題として与え、授業では残りの問題演習・解説を行う。 数学Ⅱで学んだ全分野について文章題などを通じて論理的な記述力を高める指導を行う。 解説を通して、問題の背景をわかりやすく説明し、数学的な興味関心や問題解決力を高める。	○				a.家庭学習を行い授業に臨み、意欲的に演習に取り組んでいる。 b.適切な筋道を立て、簡潔な論述ができる。 b.様々なアプローチを考え、問題を解くことができる。 c.論述の中で、簡潔な計算・数式処理方法で正確に処理ができる。 d.問題に沿った公式を判断し、活用できる。	レポート 確認テスト 観察 定期テスト
	数学B	14 42	ベクトル 数列	家庭学習でCheckから精選して課題として与え、授業では残りの問題演習・解説を行う。 数学Ⅱで学んだ全分野について文章題などを通じて論理的な記述力を高める指導を行う。 センター試験対策として過去問や予想問題を取り入れる。	○				a.家庭学習を行い授業に臨み、意欲的に演習に取り組んでいる。 b.適切な筋道を立て、簡潔な論述ができる。 b.様々なアプローチを考え、問題を解くことができる。 c.論述の中で、簡潔な計算・数式処理方法で正確に処理ができる。 d.問題に沿った公式を判断し、活用できる。	レポート 確認テスト 観察 定期テスト
3学期	総合演習	27	Ⅰ・Aのまとめ Ⅱ・Bのまとめ	1年間の総まとめとして、より発展的な課題に取り組み、上級学校に対応できる実力を養成する。また、全分野について分野横断的な問題に取り組むことで、数学的な視野を広げる。 一定時間内に課題に応じた的確な記述ができるかを確認する。		○	○	○	a.意欲的に演習に取り組み、様々な問題に挑戦する。 b.適切な筋道を立て簡潔な論述ができる。 b.様々なアプローチを考え、問題を解くことができる。 c.短時間で正確な計算・数式処理ができる。 d.問題に沿った公式を判断し、活用できる。	レポート 確認テスト 観察 定期テスト
合計時数(50分授業)		105								